

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

「あんき」に暮らせるまち 東浦

“「あんき」に暮らせるまち 東浦”が、地域福祉を推進するための本町の目指すまちのすがたです。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちを実現することで、本町の地域福祉の推進につなげます。

2 基本目標

基本理念を実現するために3つの基本目標を掲げました。

3つの基本目標は、個々に独立したものではなく、これらを相互に影響させながら展開していくことで、理想のまちの具現化を進めていきます。

基本目標1 ほっとけん ～気になる心でつながる～

地域の困りごとや支援を必要としている本人・世帯に対して「放っておけない」の思いを持ち、地域みんなで気かけあい、ともに協力し、解決しようとする意識を育みます。

地域だけでは解決できない様々な困りごとを受け止め、適切な支援につなげるための、相談しやすいしくみをつくり、支援の輪を広げていくことを意味しています。

基本目標2 やくわり ～だれもが持てる力を発揮する～

一人ひとりが、地域の特徴やふくしに興味を持ち、自分にできること、自分の持てる力に気づき、それぞれの持てる力を、地域で発揮できるしくみづくりを意味しています。

基本目標3 ささえあい ～お互いさまがあたりまえ～

ときには誰かを支え、ときには誰かに支えられながら暮らすことがあたり前にできるしくみづくりを意味しています。

3 施策の体系

3つの基本目標に沿って展開する施策や、紐づく重点プロジェクトは以下のとおりです。

基本目標を実行するために実現していかなければならないこと

基本理念

「あんき」に暮らせるまち

東浦

基本目標

1

ほっとけん

～気になる心でつながる～

基本施策

(1) 相談支援の充実

(2) 本人や家族を支えるネットワークづくり

(3) 助けてと言えるしくみづくり

2

やくわり

～だれもが持てる力を発揮する～

(1) 活躍の場づくり

(2) 地域やふくしに関心をもつ機会づくり

(3) 多様な交流の機会づくり

3

ささえあい

～お互いさまがあたりまえ～

(1) 生活支援の充実

(2) 地域福祉視点での防災・減災等のしくみづくり

(3) 日ごろの見守りのしくみづくり

基本施策を推進していくため、
具体的な取組を示したもの

具体的施策

ふくしの総合相談	P 56
社会福祉事業者における相談の受付	P 57
地域福祉の担い手における相談の受付	P 58

各種ネットワーク会議	P 59
地域における子どもに関する様々な支援	P 60
権利擁護の推進	P 60
生活困窮等への支援	P 61

包括的支援体制の構築	P 62
ふくしに関する情報発信の強化・情報保障の推進	P 63

社会参加の推進	P 64
地域における各団体への支援	P 65
ボランティア活動の推進	P 65

社会福祉施設の活用	P 66
学校等における福祉教育	P 67

出前講座の充実	P 68
地域における交流の機会づくり	P 69
公共施設等を活用した交流の場づくり	P 70

地域における住民相互の連携	P 71
---------------	------

防災対策等の推進	P 73
----------	------

地域における見守り体制の強化	P 75
地域における福祉活動の推進	P 76

基本施策を具現化するために設定
した9つの重点プロジェクト

重点プロジェクト

ほっとけんな～ P 43

みんなの相談室 P 44

「困った」あるある P 45

みんなでレストラン P 47

行ってみん、私のまちのふくし再発見 P 48

ひがしうら於大学 P 49

走れ!ちよいバス ウラ・うらら P 51

隣組スクラム大作戦 P 52

わんわんパトロールひがしうら P 53